

# 平成13年度 施策別 取組 方向

部局名：環境部、総務局、農林水産商工部、教育委員会

施策番号	施 策 名		
332	環境を守り育てる活動への参加と協働		
【2010年度の目標】 多くの住民や事業者が、人の生活と環境との関わりについて理解と認識を深め、生活様式や事業活動を見直し、環境を守り育てる活動を自ら進んで行っています。			
項 目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
環境教育パイロット校指定数(累積)	(1995年度末) 28校	55校	100校 (200校)
こどもエコクラブ数 会員数(累積)	(1995年度末) クラブ数 26団体 会員数 390人	342団体 5,969人	1,100団体 17,000人 (3,000団体) (50,000人)
環境カレッジ講座数 (累積)	(1995年度末) 35講座	77講座	120講座 (260講座)
美化推進モデル地域 指定数	(1995年度末) 0か所	34か所	59か所 (各市町村に1か所)
グリーンボランティア	202名	795名	1,000名 (2,000名)

## 1 平成11年度の取組

### (1) 平成11年度の取組概要とその成果

(環境部)

平成12年2月に三重県庁本庁舎においてISO14001の認証を取得するとともに、3市町及び中小企業4社にISO14001の認証取得にかかる経費の一部助成を行った。

NPOを主体とした環境県民運動の母体として、平成12年2月に三重環境県民会議を設立した。

こどもエコクラブについては、環境学習情報センターのオープンにあわせて県内交流会を実施するとともに、平成11年度末のこどもエコクラブ数を84(累積342)に、会員数を1,551人(累積5,969人)に拡大した。

(総務局)

ペーパーリサイクルシステムの運用を開始し、分別回収等を徹底して行うことにより、紙のリサイクル量は平成10年度の227tから平成11年度は355tに増加し、可燃ごみの量は、月約22tから約6tに減少した。

(農林水産商工部)

県産材の利用促進のためのシンポジウム等の開催、木造公共施設の建設設計支援、木材アドバイザーによる相談活動への支援とともに、県産材使用木造住宅推進のため、280件の低利融資を行った。

(教育委員会)

公立小中学校6校を「地域に根ざした環境推進モデル校」として指定し、環境学習を行うとともに、県内全ての公立学校において、6月5日を「学校環境デー」とし、また、環境学習と教員への環境研修を実施した。

### (2) 平成11年度の取組に対する問題点

(環境部)

地域の環境保全を図るとともに、地球規模の環境問題に対応していくためには、従来の規制行政に加えて、経済的手法も取り入れつつ、多様な主体による自主的な環境県民運動を促進する必要がある。

(総務局)

システムの確立のためには、職員の更なる分別回収の意識徹底を図る必要がある。

(教育委員会)  
地域に根ざした環境教育が県内全ての学校で推進される必要がある。

(3) 平成12年度 of 取組と成果見込み

(環境部)

平成12年を「環境県民運動元年」と位置づけ、環境イベントの実施や様々な主体による県民運動を展開する。

- ・三重県地球環境保全推進協議会を改組し、「環境創造活動を進める三重県民の会」を設置(7月)
- ・市町村との協働・連携の場として県及び県民局段階で「県・市町村環境協働・連携会議」の設置(7月)
- ・環境を軸にした「企業環境ネットワーク・みえ」(仮称)の設立(準備会8月、設立11月)
- ・公害防止条例を見直し、三重県生活環境保全条例(仮称)の制定(12年度末)
- ・各県民局へISO14001の認証取得の拡大と、市町村及び中小企業、学校関係など多様な主体へISO14001の認証取得の推進
- ・グリーン購入を推進するとともに、市町村や企業等と「グリーン購入ネットワーク」を設立

(総務局)

分別収集の徹底により紙のリサイクルの推進を図るとともに、地域機関のリサイクルシステムの導入を目指す。

(農林水産商工部)

県産材の利用促進を引き続き推進する。(低利融資見込み280件)

(教育委員会)

学校環境デー実施事業、学校エコフイス運動推進事業、環境学校教育推進モデル校事業等により、学校、家庭、地域社会との連携による環境保全運動を推進する。

3 平成13年度以降に向けての取組方向

(環境部)

環境フェアを、環境先進県づくりを象徴する事業として位置づけ、環境産業の育成や県民運動の契機となるイベントとして開催する。

県と、県民、市町村及び事業者等が協働・連携して環境保全活動を進める組織、仕組みを構築し、環境先進県づくりに向けた取組みを推進する。

- ・「環境創造活動を進める三重県民の会」を活動の母体として、環境美化行動、無洗米の普及などの統一テーマに基づく全県的な環境創造活動の実践
- ・県と市町村の協働・連携による、グリーン購入の推進、ISO14001認証取得推進、環境先進モデル市町村づくりなどの展開
- ・「企業環境ネットワーク・みえ」(仮称)により、企業間連携や、行政と企業のタイアップによる新たな環境創造活動の展開
- ・「三重環境県民会議」を中心とする自主的な環境活動グループ等の活動促進

環境先進県づくりのための担い手を育成するという観点から、環境学習情報センターの施設機能の一層の活用及び多様な関係機関との連携による環境学習を進める。

こどもエコクラブの交流活動を促進するため、福井、岐阜、滋賀、三重四県こども環境会議を平成13年度に三重県で開催する。

(総務局)

ペーパーリサイクルシステムを県庁舎、地域庁舎だけでなく、学校等の県有施設を含めた体制づくりを行う。

(農林水産商工部)

環境にやさしく健康的にも良い木造住宅の普及推進を積極的に進める。

(教育委員会)

各学校で地域と協力しながら、体験活動を通して主体的に学習できる環境教育を進め、環境への負荷の少ない学校づくりやリサイクル活動の省資源の取組を行う。